

2003 年度 委員会活動成果報告

(2003 年 5 月 10 日作成)

委員会名	博物館建築研究会	主 査 名：岡野 眞
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：服部 岑生
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	これからの博物館は、生涯学習や余暇活動など国民の広範な活動の場として、また地域活性化や地域文化の創造など博物館の概念が大きく拡がりつつある。また、独立行政法人として、様々な視点から客観的な評価を得る事が期待される。こうした観点のもとに、新しい試みに取り組む博物館の運営者と設計者の両者を招いての研究会を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	主査 岡野 眞 幹事 中山 豊、知久昭夫 委員 奥平耕造、片山律、川崎清、鈴木成文、仙田満、戸尾任宏、内藤廣、畑中忠、半澤重信、松川淳子、丸谷博雄、矢田努	
設置 WG (WG 名：目的)	上記の研究会の対象となる博物館について、委員以外の博物館の設計等に携わる人々の参加を得て、見学会を実施する。 開催予定数 見学会：1 回	
2003 年度予算	0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>6 月 13 日に、年度内の活動計画についての検討会と新設博物館（海峡ドラマシップ・北九州市・仙田満 + 環境デザイン研究所設計）の設計報告会を実施。参加者 24 名。</p> <p>6 月 28 日から 29 日にかけて、松本市美術館（宮本忠長設計）、松本城、旧開智学校、安曇野ちひろ美術館（内藤廣設計）、小布施町内、北斎館（宮本忠長設計）ほかを設計者 + 運営者らの案内により視察した。参加者 18 名。</p> <p>11 月 4 日には、安曇野ちひろ美術館等の照明デザインを担当されました面出薫氏（ライティング・プランナーズ・アソシエイツ）に、美術館等の照明計画についてレクチャー頂き博物館における演出照明のあり方や地球環境に配慮すべき時代における照明計画と外光の活用手法などについて意見を交換した。参加者 34 名。</p>
得られた成果	<p>（成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無）</p> <p>新しいタイプの歴史博物館（海峡ドラマシップ）、市民美術館（松本市美術館）、個人美術館（安曇野ちひろ美術館）、観光まちづくり拠点（北斎館）など、それぞれが建築的にも運営面においても異なる特性を發揮しながら、まちづくりや地域づくりに貢献している様子を、比較検討しながら見る事ができた。</p> <p>照明計画の研究会では、光による空間演出の方法論や地球環境建築の時代における照明コンセプトのあり方などが議論された。</p>
目標の達成度	<p>（当初の活動計画と得られた成果との関係）</p> <p>博物館が、単体の建築施設に留まるものではなく、まちや地域、さらには地球環境へと連続するものであり、それらに大きな影響を与えているものであることが、研究会と見学会を通して示唆された。</p>
その他評価すべき事項	<p>見学会では、話題の博物館建築を、設計者と運営者の案内と、ディスカッションにより、具体的な博物館計画のノウハウに触れることができることから、研究会員のみならず、建築、展示、運営などに関わる幅広い人々の参加と相互の交流を得ることができた。</p>